

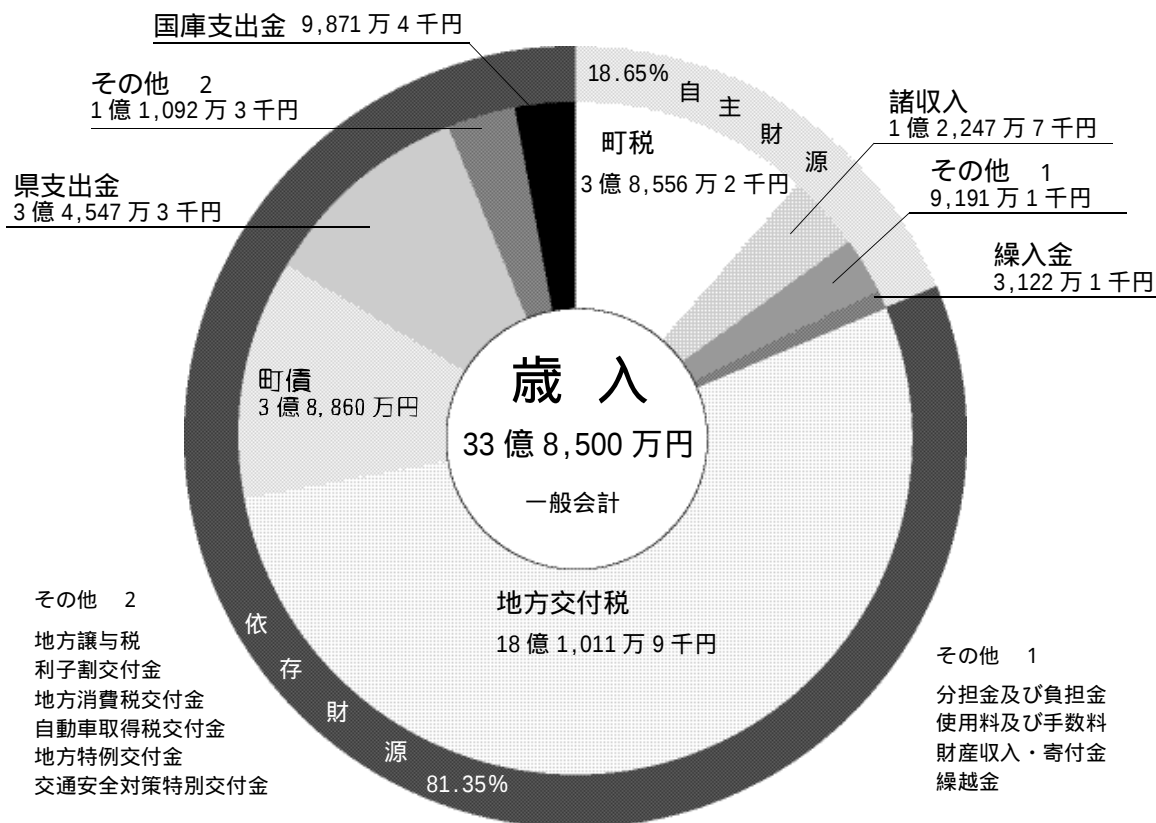
まちづくりの予算は 33億8,500万円

一般会計 昨年と比べて 1 億 6,400 万円の減

町づくりの基礎となる平成 15 年度の予算も動き始めました。

町財政の中心となる一般会計当初予算は、33 億 8,500 万円で、前年度に比べて 1 億 6,400 万円と 4.62% の減。特別会計を加えた予算総額は、57 億 6,051 万円と、伸率は 0.55% となりました。

今年のまちづくりを推進するため編成された予算の内容をお知らせします。



町のお金の使い道

一般会計の予算は

33億8500万円

平成15年度町の会計は、一般会計と六つの特別会計に分かれ、引き続き鳥取県西部地震の住宅復興に力を注ぐとともに、過疎化や少子高齢化の進行、加速する情報化の中、厳しい財政状況や地方自治のあり方を再認識し、福祉・医療・人権・環境・教育を重点に、まちづくりを推進するため編成されました。

一般会計の当初予算は、鳥取県西部地震の復旧が進んだための減額、並びに普通交付税の減額に伴い、予算規模を圧縮。当初予算は、33億8500万円で、平成14年度の当初予算に比べ1億6400万円（伸率4・62%）の減額となっています。

それぞれの目的に応じ、一般会計とは別に運営する特別会計と合わせた総額は、57億